

都政レポート

2014年第四号

ホームページでも情報発信中! <http://otokitashun.com>

音喜多駿(おときたしゅん) / 1983年9月21日北区王子本町生まれ。
いなり幼稚園、北区立王子第二小学校卒の生粋の北区民。海城中学・高校、
早稲田大学政治経済学部政治学科を卒業後、外資系企業で7年間のビジネス経験を経て、
現在東京都議会議員一期目。平成25年度は警察消防委員会(理事)、決算特別委員会に所属。
都議会会派「みんなの党 Tokyo」では政調会長を務める。



2014年第四号
目次

相次ぐ不祥事、腐敗する地方議会

蔓延する「シナリオ議会」。注目度が低く、低下する議論のレベル

都議会は変わるか? 3つの改革で、政治を都民の手に取り戻そう!

相次ぐ不祥事、腐敗する地方議会

今年(平成26年)に入ってから、**全国の地方議会で不祥事の発覚が止まりません**。視察費や切手代の不明瞭な支出など、政務活動費の不正使用が発覚した兵庫県議会。公職選挙法違反により、現職の半数以上が逮捕された青森県平川市議会。「穴の開いたコンドームを配るのはどうか」という不適切発言のあった愛知県新城市議会。脱法ドラッグの使用で現職自民党議員が辞職、後に逮捕された神奈川県議会…。国会と違って普段はスポットライトが当たらない「地方議会」が、一躍注目される事態となりましたが、このきっかけとなったのは、**東京都議会の「セクハラヤジ問題」**です。

みんなの党 Tokyo に所属する塩村あやか都議が、女性の妊娠・出産に関わる支援政策の質問をしている最中、複数の男性議員から「早く結婚した方がいい」他、**結婚や出産に関わる不適切なヤジが飛ばされました**。女性への人権侵害とも取れるこの発言に対し、議長は注意を行わないどころか、周囲の男性議員も笑って見ている状態でした。そして発言をした議員や、彼が所属する会派も、当初はこの事態を一切問題視せず、有耶無耶で幕引きをさせようとしていたことは明らかです。最終的に、世論の高まりを受けて一名の議員が不適切発言を認めて謝罪しましたが、その他のヤジを飛ばした議員たちはいまだに黙秘を続けたまま。**都議会としての抜本的な対応も、一切取られることなく現在に至っています**。



▲6月19日放送 NHKニュースより

蔓延する「シナリオ議会」。注目度が低く、低下する議論のレベル

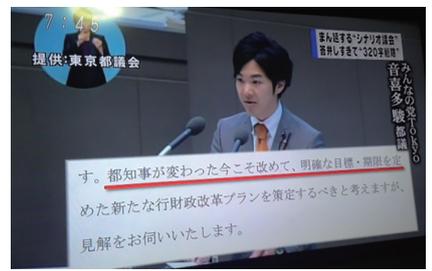
なぜ都議会を始めとする全国の地方議会は、このような体たらくなのでしょう。それは地方議会の体質にあります。東京都議会を例にとれば、都議会の「本会議」では、質問する議員側も答弁する役人側も、**事前に読み上げる内容はほぼすべて決まっています**。入念な調整を行うためですが、これでは本会議は単なる「儀式」になってしまい、緊張感に乏しいのが現状です。事前に内容がわかっているならば、周りの議員たちも、真面目に話を聞く必要はありません。どんなに議場がうるさくても、**議事は淡々と進んでいくので、ヤジを飛ばしたり、居眠りをする余裕があるのです**。



▲7月13日報道 フジ新報道2001より
事前の答弁調整について解説

このような退屈な本会議は、必然的に傍聴者も少なく、都議会への注目度は国会に比べて非常に低いものになります。そのため、議員たちには監視の目が行き届かず、政務活動費で新年会をはしごしたり、大量の切手を購入する行為にもつながっていきます。つまり、**議会が「儀式化」する→有権者の注目度が低下し、監視の目が緩む→ヤジや金銭トラブルなど、不祥事が横行する**。こんな負のスパイラルに、地方議会は陥っているのです。

都議会は変わるか？ 3つの改革で 政治を都民の手に取り戻そう！



▲7月13日報道 フジ新報道2001より
事前の原稿通りに質問がなされる実際の映像

では、地方議会は、東京都議会の状況はもう絶望的なのでしょうか？

確かに、どうしようもなく古い慣習に縛られた世界ではありますが、改善できる点はたくさんあります。

【提言その1】シナリオ議会からの脱却を！

まず、台本を読み合うだけの形骸化した儀式を改めましょう。現在は質問者がまず一気に質問を読み上げて、それに答弁者たちがまとめて答えるという形式ですが、質問が長く内容も多岐に渡る場合、どの質問に対しての答弁なのかすらわからなくなります。これを予算特別委員会などと同様、**一問一答形式に変えることで、ライブ感と緊張感を取り戻すことができます**。また、都議会では慣習上あまり行われていない、不十分な答弁に対する「再質問」も、積極的にやっていくべきでしょう。

【提言その2】議会開会日数を増やして、議論の時間を確保せよ！

都議会が開会されているのは年4回、その期間は合計で100日未満です。それだけでも少ないと感じられますが、このうち「**必ず出席しなければいけない本会議や委員会**」は、私の場合なんと**1年で40日間足らず**でした。もちろん、議員の仕事は議会だけではなく、これで年1,600万円超の議員報酬というのでは、都民目線で理解をされづらいのではないのでしょうか。**もっと議会での議論を活発にして、時間が足りないのなら議会の開会日数を増やすべき**です。最近では年間を通じて常に議会を開会しておく「**通年議会**」にする地方議会も増えています。これも視野に入れながら、本質的に「**議論の時間を増やす**」ということを検討するべきです。

【提言その3】インターネットなどを活用し、更なる情報公開を！

東京都議会は、きわめて情報に閉鎖的なところですが、本会議こそネット中継が入りますが、各常任委員会はいまだにネット中継がなく、その理事会は原則非公開です。また本会議も、中継のカメラは後方からの定点撮影のみ。傍聴人も後ろからしか見ることができないため、ヤジを飛ばしたり居眠りする議員の顔を確認することができません。**各常任委員会もすべてインターネット中継、そして中継のカメラは議員席も映せる仕組み**にし、傍聴人も議員の顔が見える席から傍聴できるように改善するのがベストでしょう。

以上の改革はすべて、**都議会議員たちがやる気になればすぐにでもできることばかり**です。しかし、閉ざされた空間の中で、お手盛りの議論をしたい政治家たちは、改革に対して非常に後ろ向きなのが現実です。選挙の時は「働く女性・子育てを応援」などと言っておきながら、女性議員に対して蔑視発言を平気で投げつけたり、「ヤジは議会の華」などと言って開き直る議員が大勢いるのが、今の東京都議会なのです。

しかし、**議会を変えるのは、都民の皆さまたちの力**です。今回のヤジ騒動も、皆さまからの多くの声に押されて、議会改革の機運が高まりました。このまま何ら具体的な改善策を提示しないまま、有耶無耶にして良いものでしょうか。ぜひ、皆さま方の率直な声を、都議会議員や都議会に届けてください。そして、選挙がないときだからこそ、議員たち一人ひとりの言動にご注目いただければと思います。

おときた駿 からの お知らせ

ブログ、ツイッターで毎日情報発信中！

▶ **Twitter** <http://twitter.com/otokita/>

▶ **ブログ** <http://otokitashun.com/blog/>

● 「出張都政報告」に伺います！

- 「町内会で都政の報告をして欲しい」「自分たちの会合で東京都の話が聞きたい」「行政について報告が欲しい」等、皆さまのお集まりに呼んでいただければ、都議会議員おときた駿が**北区内どこへでも出張いたします!**(日時は要相談)少人数でも、まずはお気軽に電話・FAX・メールにておときた駿事務所までご連絡下さい。



都政のこと、北区のこと… どんな小さなことでもかまいません。
皆さまの声をお寄せください！

お問い合わせは… mail@otokitashun.com

各種ご連絡先

おときた駿事務所

〒114-0034 東京都北区上十条 2-25-14
Tel/Fax 03-3908-3121

公式
QRコード
へ！

